

学校評価（自己評価）公表シート

社会福祉法人アタラシカタチ
 幼保連携型認定こども園 西大寺北こども園

1. 本園の教育・保育目標

<p><u>教育・保育理念</u> 一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、地域とともに育ち合うこども園 ～ 一人ひとりの居場所を大切に ～</p> <p><u>教育・保育目標</u> 「豊かに学び、自ら考え、行動する子どもを育てる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ よく考え探求し、ことばで伝えようとする子 ◎ 規律を守り、自然や人との関わりを大切にできる子 ◎ リズムある生活と、体力づくりや食習慣形成に心がける子 ◎ 身近な自然や人・文化に親しみ、大切にしようとする子 ◎ 人や物に進んで関わり、「あこがれ」がもてる子
--

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

<p>評価項目を設定し、それらに沿って自己評価を実施し、職員が主体性を持って客観的に自園の教育内容・保育内容をチェックし、重点項目について点検と改善に取り組む。</p>
--

3. 評価項目の達成と取り組み状況

評価項目	取り組み状況
<p>幼保連携型認定こども園の教育・保育理念や方針に沿って課程を編成している。</p>	<p>法人、園の理念や方針を職員で共有し、子ども達の実態と園の教育・保育理念に基づき全体的な計画を作成した。</p>
<p>指導計画は、教育・保育要領、教育・保育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成されている。</p>	<p>奈良市のバンビーノプランを職員間で研修し、各学年で子どもの姿を確認しつつ見直したり訂正したりして、作成している。</p>
<p>子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。</p>	<p>日々の観察や記録に基づいて子ども理解を進め、職員間で定期的な話し合いを持ち、子どもの実態や日々の保育の工夫を共有し、具体的な実践に努めている。</p>
<p>毎月、各クラスの成果と課題を報告し、確認している。</p>	<p>各クラスで月案や週日案の作成と振り返りを行い、報告しあっている。また、各保育教諭が事例を持ち寄り、園全体で共有し、園全体の把握にも努めている。</p>
<p>子どもの良さを認めて評価しようとしている。</p>	<p>一人ひとりの子どもに寄り添い、良さを認め、保育教諭が客観的に見る目を養うように努めている。</p>
<p>遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。</p>	<p>朝の自由な遊び等、異年齢児で関わり合って遊び、工夫したり協力したりして遊びの広がりが見られた。保育教諭は過剰な関りをせず、色々な体験ができる環境づくりに努めている。</p>

規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	子ども達の実態を把握しつつ、基本的な生活習慣が身に付くように促している。
-------------------------	--------------------------------------

教育・保育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	年の研究主題を設定し、各保育教諭が事例を作成し持ち寄って研修を行った。また、人権擁護のためのセルフチェックリストを使い一人ひとりを大切に保育の自己点検をし、保育の見直しを行った。その他にも各種研修を行いながら、質の向上に努めた。
園だよりや各種研修会を通して、子ども園の情報を発信していく。	日々の子どもの様子をコドモンで配信したり、園だよりや保健だより、またドキュメンテーション等の発行を行い、積極的に園の取組みについて情報発信したりしている。また、地域の会合等で園の様子を伝えている。
保護者のニーズの把握のために、要望や苦情に適切に対応をはかる。	年間2回の個人懇談、クラス懇談や保護者アンケートを実施し、保護者の思いや意見を聞き、園の考えを伝えつつ改善に努めている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>評価については、職員が研修などで趣旨や意味を理解し、自己点検や自己評価に取り組んでいた。今後も自らの教育や保育を日々振り返りながら、反省や改善を繰り返し工夫のある教育・保育の実践を行い、子ども達の生活を日々充実したものにしていきたい。また、各種の課題や目標についても概ね達成ができています。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全教育と安全管理	地震、その他の自然災害への対応と計画、また不審者等への対応など、危機管理マニュアルの徹底と日頃の訓練を通して職員の意識の向上を図る。
自己点検・自己評価	基本的な項目を点検課題として設定した。今後、更に各職員が目標に向けて課題を明確にし、日々の見直しをしながら自己研鑽に取り組むようにする。
指導計画の編成	教育・保育要領をもとに奈良市バンビーノプランの理解を深めながら子どもの実態に即した指導計画の立案や見直しを進める。と共に、IB教育プログラムの実践に向けて研修を重ね、計画を明確にし、職員一人ひとりのものにできるようにする。また、園の特色について理解を深め、地域に根ざした特色のある園づくりを行うようにする。